

民間参加者ご略歴

野口 市太郎(のぐち いちたろう)

長崎県五島市長



昭和 30 年長崎県五島市生まれ。昭和 53 年長崎大学卒業後、長崎県庁入庁。平成 24 年 9 月五島市長就任。平成 28 年 3 月に五島市沖にて国内初となる浮体式洋上風力発電を実用化。令和元年 12 月には、同沖が国内で初めて再エネ海域利用法に基づく促進区域に指定される。市長就任以降、人口減少対策を市の最重要課題として、平成 29 年に施行された有人国境離島法に基づく雇用機会拡充事業や U・I ターンの推進などに取り組み、令和元年には、離島という厳しい環境の中で転入者が転出者を 33 人上回る「社会増」を達成。令和2年 8 月に行われた五島市長選挙にて再選。現在 3 期目。

末吉 里花(すえよし りか)

一般社団法人エシカル協会 代表理事



慶應義塾大学総合政策学部卒業。TBS 系『世界ふしぎ発見!』のミステリーハンターとして世界各地を旅した経験をもつ。エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなる持続可能な社会の実現のため、日本全国でエシカル消費の普及を目指している。著書に『はじめてのエシカル』(山川出版社)、絵本『じゅんぴはいいかい?—名もなきこざるとエシカルな冒険』(山川出版社)ほか。日本ユネスコ国内委員会広報大使、東京都消費生活対策審議会委員、日本エシカル推進協議会理事、日本サステナブル・ラベル協会理事、地域循環共生社会連携協会理事、ピープルツリー・アンバサダーなどを務めている。

<https://ethicaljapan.org>

近藤 壮真(こんどう そうま)

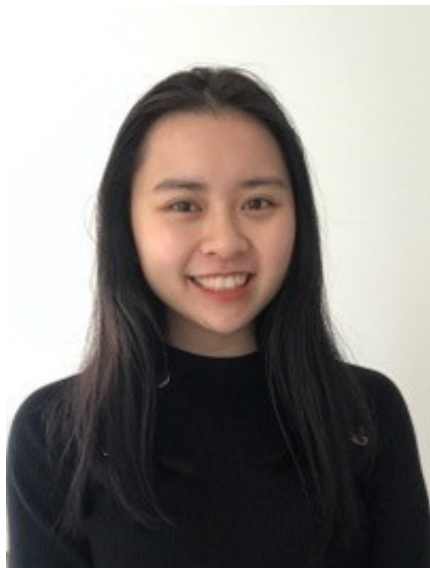
Climate Youth Japan 代表



大阪府堺市出身。

2019 年 4 月、東京大学文科二類に入学後、Climate Youth Japan に入会。2020 年度より代表を務める。

「アフターコロナの経済社会の再設計」に関しての環境省への政策提言などを担当。



石川 柚葉(いしかわ ゆずは)

Climate Youth Japan 副代表

中学3年生の時、理科の授業をきっかけに環境問題に関心を持つようになりました。

高校時代は社会課題解決型のビジネスプランの作成に励みましたが、大学入学時から Climate Youth Japan に所属し環境に関する知識を深めたり、イベントの開催を行ったりしています。

今年の秋から当団体の副代表として活動しています。



武井 壮(たけい そう)

タレント・元陸上十種競技日本チャンピオン

環境省サステナビリティ広報大使

元・陸上 十種競技日本チャンピオン。陸上、野球、ゴルフ、格闘技などさまざまなスポーツを経験し、2012年5月からは「百獣の王」としてバラエティ番組やスポーツ番組などメディアを中心にタレントとして活動。2015年、2018年には世界マスターズ陸上の世界大会にて4×100mリレーで金メダルを獲得したり、新たにビリヤードやピアノ、乗馬、俳句などにもチャレンジ中。

2020年11月から環境省サステナビリティ広報大使に就任。

2022年に延期になったワールドマスターズゲームズ関西応援大使、東京 TOKYO パラスポーツプロジェクト「TEAM BEYOND」メンバーもつとめている。



トラウデン 直美(とらうでん なおみ)

モデル・タレント、環境省プラごみゼロアンバサダー

1999年4月21日生まれ。京都府出身。慶應義塾大学法学部3年在学中。

雑誌『CanCam』史上最年少専属モデルとして13歳でデビュー。

2020年 環境省プラごみゼロアンバサダーに就任。

現在はファッション雑誌やファッションショーのほか、NTV「スッカリ」「情報ライブ ミヤネ屋」、CX「ワイドナショー」「とくダネ!」「Mr.サンデー」、EX「ビートたけしのTVタックル」など情報・ニュース番組のコメンテーターとして活躍中。東京ガールズコレクション 2020 の環境省ステージでは T シャツを再利用したエコバックを持って出演し、若者に向けてサステナブルファッションをアピール。BS テレ東「日経プラス10」では「SDGsへの道」のコーナーキャスターを勤め、SDGs に取り組む企業を取材し、その意識を世の中に広める一役を担っている。



吉野 彰(よしの あきら)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター長

吉野 彰は1948年1月生。1972年京都大学大学院工学研究科専攻修士課程修了後、旭化成に入社。1980年代の初めに吉野により考案されたリチウムイオン電池は、1986年に実用的なプロトタイプが完成した。リチウムイオン電池は携帯電話から電気自動車まで幅広く用いられ、情報化社会とクリーンエネルギーの普及に貢献。その功績から2003年文部科学大臣表彰、2014年全米工学アカデミーのチャールズ・スターク・ドレイパー賞、2019年文化勲章を受賞。同年12月、ノーベル化学賞を受賞。現在、旭化成株式会社名誉フェロー、国立研究開発法人産業技術総合研究所 フェロー兼エネルギー・環境領域 ゼロエミッション国際共同研究センター 研究センター長、技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター理事長、名城大学 特別名誉教授。

伊藤 麻美(いとう まみ)

日本電鍍工業(株) 代表取締役



東京都港区生まれ。幼稚園から高校まで清泉インターナショナルスクールで教育を受けました。卒業後は上智大学外国語学部比較文化学科入学(Business/Economics Major)

1990年大学卒業後、約8年間フリーランスFMラジオ・TVなどのパーソナリティとして様々な局でお仕事をさせていただきました。

1998年渡米、CaliforniaにあるGemological Institute of Americaに宝石の鑑定士・鑑別士GG取得ため留学。宝石関係の仕事に就く直前、亡き父が創業した日本電鍍工業(株)が倒産の危機だと知り急きょ帰国。会社の再建を目指し2000年代表取締役に就任しました。

優秀な社員達に恵まれ今日まで来ることができました。

日々、経営と反抗期息子から刺激をもらっています。

夢は100年企業！

杉森 務(すぎもり つとむ)

一般社団法人日本経済団体連合会副会長

ENEOSホールディングス株式会社 代表取締役会長



1955年石川県生まれ。1979年一橋大学商学部卒業後、日本石油に入社。2006年中部支店長、2008年執行役員販売総括部長を歴任。新日鉱ホールディングスとの経営統合後は、2010年JX日鉱日石エネルギー常務取締役、2014年代表取締役社長を歴任。2017年、東燃ゼネラル石油との経営統合により誕生したJXTGエネルギー代表取締役社長、2018年JXTGホールディングス代表取締役社長を経て、2020年6月にENEOSホールディングス代表取締役会長・グループCEOに就任し、現在に至る。公職としては、2018年より経団連副会長・環境安全委員長を務めており、2020年5月には石油連盟会長に就任。



三宅 香(みやけ かおり)



イオン株式会社 執行役 環境・社会貢献・PR・IR担当
日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) 共同代表

1991 年 ジャスコ株式会社入社 国際事業本部配属
2002 年 イオン株式会社 財務部
2007 年 同社 ブランディング部長
2008 年 クレアーズ日本株式会社 代表取締役社長
2013 年 イオンリテール株式会社 お客様サービス部長
2014 年 同社 執行役員 お客様サービス部長
2015 年 同社 執行役員広報部長兼お客様サービス部長
2017 年 イオン株式会社 執行役 環境・社会貢献・PR・IR 担当(現任)
2019 年 日本気候リーダーズ・パートナーシップ 共同代表(現任)



大関 洋(おおぜき ひろし)



ニッセイアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長

1987 年東京大学理学部物理学科卒業後、日本生命保険相互会社に入社。国内債券ポートフォリオ・マネージャー、グローバル・クレジット投資・オルタナティブ運用を所管する金融投資部長等を経て 2013 年財務企画部長。2014 年に取締役執行役員に就任、有価証券運用全体のマネジメントを担当。2018 年から常務執行役員として、ニューヨークに駐在し、米州・欧州総支配人を務める。2020 年 3 月より現職。1999 年証券アナリストジャーナル賞受賞。2008 年 ペンシルバニア大学ウォートン校 上級マネジメントプログラム(AMP)修了。

※プロフィールは、各参加者からご提出いただいたものをそのまま掲載しております。